



奈良県感染症情報

令和7年 第17週(4月21日～4月27日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- ウエルシュ菌感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	11.08	(10.00)	➔	➔	➔	⬇
2	手足口病	1.75	(1.00)	⬆⬆	⬇	⬆⬆	➔
3	新型コロナウイルス感染症	1.15	(1.59)	⬇	⬇	⬇	⬇
4	A群溶連菌咽頭炎	1.04	(2.38)	⬇	⬇	➔	➔
5	RSウイルス感染症	0.71	(1.25)	⬇	⬇	⬇	⬇

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ⬆⬆急増、⬆増加、➔やや増加、➔横ばい、⬇やや減少、⬇減少

◆ 県内概況 ◆

第17週の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は11.08で、前週の10.00より増加しています。体調の変化に気をつけ、トイレの後や食事・調理の前には、流水と石けんによる手洗いを徹底しましょう。

手足口病の定点当たり報告数は1.75です。過去5週間平均数と比べ急増しており、特に中和保健所管内西部地域での増加がみられます。手足口病は、手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染が知られています。感染対策として、手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用は避けるようにしましょう。

❖ ウエルシュ菌感染症について ❖

ウエルシュ菌は、ヒトや動物の腸管内のほか、土壌、下水、食品など、自然界に広く分布している細菌です。高温に耐える芽胞(がほう)を形成し、酸素のない環境を好むという特徴があります。ヒトにおけるウエルシュ菌の感染症の中で、最も多く報告されているのは食中毒です。令和6年には奈良県内で弁当を原因とした食中毒事例も報告されています。

○ ウエルシュ菌食中毒の特徴

ウエルシュ菌食中毒は、ウエルシュ菌が大量に増えた食品を摂取することで発症します。食品中で増殖した菌が胃を通過して腸管内に定着・増殖し、芽胞を形成する過程でエンテロトキシン(腸管毒素)を放出します。この毒素の作用により、腹痛や下痢などの症状が引き起こされます。潜伏期間は6～18時間(平均10時間)で、多くの場合1～2日で自然に回復します。

発生は特に夏季(7～9月)に多い傾向がありますが、年間を通じて注意が必要です。原因食品としては、カレー、煮物、スープなどの煮込み料理や、大量調理された食品が多く報告されています。ウエルシュ菌の芽胞は通常の加熱でも生き残るため、調理後に食品を室温で長時間放置すると、菌が急速に増殖し、食中毒のリスクが高まります。

◎ 食中毒予防のポイント

ウエルシュ菌による食中毒を防ぐには、「菌を増やさない」ことが最も重要です。特に、加熱調理後の食品は小分けにするなどして素早く冷却し、室温での長時間放置は避けて、なるべく早めに食べることが大切です。

◆定点把握感染症報告状況◆

令和 7 年 第 17 週 4 月 21 日 ~ 4 月 27 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ	41 (0.66)	10 (0.80)	9 (0.89)	9 (0.22)	9 (1.00)	4	
新型コロナウイルス感染症	47 (1.15)	8 (0.80)	6 (0.67)	12 (1.33)	13 (1.44)	8 (2.00)	
小児科定点数	24	6	5	6	5	2	
RSウイルス感染症	17 (0.71)	3 (0.50)	3 (0.60)	3 (0.50)	8 (1.60)		
咽頭結膜熱	13 (0.54)	6 (1.00)		4 (0.67)		3 (1.50)	
A群溶連菌咽頭炎	25 (1.04)	5 (0.83)	5 (1.00)	3 (0.50)	12 (2.40)		
感染性胃腸炎	266 (11.08)	49 (8.17)	65 (13.00)	42 (7.00)	106 (21.20)	4 (2.00)	
水痘	5 (0.21)	1 (0.17)	2 (0.40)	1 (0.17)	1 (0.20)	1	
手足口病	42 (1.75)			4 (0.67)	38 (7.60)		
伝染性紅斑	3 (0.13)	1 (0.17)	1 (0.20)		1 (0.20)		
突発性発しん	7 (0.29)	1 (0.17)	1 (0.20)	2 (0.33)	3 (0.60)		
ヘルパンギーナ	1 (0.04)	1 (0.17)					
流行性耳下腺炎	4 (0.17)	1 (0.17)	1 (0.20)	1 (0.17)		1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	5 (0.50)	1 (0.33)	1 (0.33)	2 (1.00)	1 (0.50)		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)		
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

◆全数把握感染症報告状況◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(郡山1、中和1)
3類感染症	細菌性赤痢1件(奈良市1)
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件(奈良市1) クロイツフェルト・ヤコブ病4件(中和4) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒3件(奈良市1、郡山2) 百日咳18件(奈良市5、郡山2、中和11)

◆入院基幹定点報告状況◆

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	5
---------	---	--------------	---

◆急性呼吸器感染症(ARI)◆

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部						
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野								
定点数	41	10	9	9	9	4							
急性呼吸器感染症	1857 (45.29)	263 (26.30)	317 (35.22)	545 (60.56)	642 (71.33)	90 (22.50)							
年齢別													
年齢	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80-	合計
男	83	391	175	99	40	20	29	16	26	25	15	14	933
女	65	362	148	81	32	21	42	45	36	27	28	37	924

◆第17週のトピックス◆

百日咳の発生状況について(国立健康危機管理研究機構HP)
https://id-info.jihhs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html

上段:報告数 / 下段:定点当たり報告数 報告数÷定点数

*データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男			1		1	1	2				2	5	3	1		1	1	1		20	2918
	女				1	1	1	1	2	1			1	1						1	7	2851
新型コロナウイルス感染症	男		3	1								1	2	2	3	1	4	2	4	2	25	1741
	女				1				1			1	2	2	4	6	1	2	1		22	1917
RSウイルス感染症	男		3	3	1					1											8	457
	女	2	3	3							1										9	417
咽頭結膜熱	男			2					1	1											4	75
	女		1	6					1												9	59
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1		2	4	2	2	1		3								14	309
	女		1	1	1		1	1	2	2			1	1							11	272
感染性胃腸炎	男	1	9	19	20	13	9	7	14	10	8	8	10	1	4						133	2326
	女	1	11	27	14	7	15	9	11	5	7	6	11	2	7						133	2039
水痘	男								2												2	35
	女												1								3	41
手足口病	男		1	7	4	10	3	1	1												27	83
	女		2	2	8	1	1	1													15	48
伝染性紅斑	男								1												1	66
	女									1											2	59
突発性発しん	男		2	3																	5	67
	女			2																	2	47
ヘルパンギーナ	男					1															1	4
	女																					2
流行性耳下腺炎	男									1											1	4
	女			2								1									3	6
急性出血性結膜炎	男																					
	女																				2	19
流行性角結膜炎	男																	1			3	32
	女				1																	
細菌性髄膜炎	男																					5
	女																					1
無菌性髄膜炎	男																					1
	女																					1
マイコプラズマ肺炎	男																				1	22
	女		1																			21
クラミジア肺炎	男																					
	女																					
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																					8
	女																					10

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R7 ▲ R6 □ R5 〰 過去10年平均

